

## 黒潮圏総合科学専攻 ディプロマ・ポリシー

本専攻は、東南アジアから東アジアに及ぶ広範な国々や地域、海域における資源・環境・社会・健康医科学・食と看護に関連するさまざまな専門分野を統合し、解決すべき問題を俯瞰して、総合的・学際的な「黒潮圏科学」として教育することを主たる理念とし、次に掲げる人材を育成することを目的とする。

- ・それぞれの分野に関する高度な専門知識を持つとともに、異分野の知識・視点をも兼ね備えた研究者及び教育者
- ・黒潮圏科学という新しい概念を身につけ、幅広い知識と国際的な視野を持った新しいタイプの研究者及び教育者
- ・黒潮圏科学に基礎を置き、幅広い知識と国際的な視野を持つとともに、国内外の産業・経済の発展、環境保全又は資源管理に貢献できる人材

### ■黒潮圏総合科学専攻

#### 【知識・理解】

- ・学位研究の対象である専門分野に関する高度な専門知識と技術を持つとともに、異分野の学問領域の知識・視点をも兼ね備えている。

#### 【思考・判断】

- ・地球規模あるいは地域内における社会の持続的発展や資源・環境の持続的利用・保全に関する課題に取り組み、論理的考察により、有効な対策や結論を導き出すことができる。

#### 【関心・意欲・態度】

- ・専門領域における課題解決に対して関心を持ち、強い探究心により自己の知識や技能を駆使する意欲を示し、高い協調性と倫理性をもって自律的・継続的に行動する。
- ・高い倫理意識のもとに、自発的かつ積極的に、自らの培った高度な専門知識を社会のために活かそうとする態度を有する。

#### 【技能・表現】

- ・論理的な思考・判断のプロセスとその結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と豊かなコミュニケーション能力を有している。

#### 【統合・働きかけ】

- ・身につけた高度な専門的知識・技能や考え方を統合し、学位論文を作成することで、その成果を広く社会へ発信できる。
- ・自身の研究を社会に還元し、また社会的課題や地域的課題との繋がりを見出すことで、異なる専門分野の専門家と協働して、課題を解決できる。

### ■海洋資源科学コース

#### 【知識・理解】

- ・海底資源や海洋生命に関する海洋資源科学における各専門領域に関する高度で最先端の知識と技術を習得している。また、異分野の学問領域の知識・視点を修得している。

**【思考・判断】**

- ・海底資源・環境の持続的利用・保全への貢献に主眼を置き、学際的・国際的視野から課題に取り組み、論理的考察により、有効な対策や結論を導き出すことができる。

**【関心・意欲・態度】**

- ・海洋資源科学に関連する課題の解決にあたり、強い探究心をもち研究や技術開発を遂行する意欲を有する。また、環境や法律などの総合的な資源管理の視野からの関心を有し社会に貢献できる。
- ・高い倫理意識のもとに、自発的かつ積極的に、自らの培った高度な専門知識を社会のために活かそうとする態度を有する。

**【技能・表現】**

- ・論理的な思考・判断のプロセスとその結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と豊かなコミュニケーション能力を有している。

**【統合・働きかけ】**

- ・身につけた高度な専門的知識・技能や考え方を統合し、学位論文を作成することで、その成果を広く社会へ発信できる。
- ・自身の研究を社会に還元し、また社会的課題や地域的課題との繋がりを見出すことで、異なる専門分野の専門家と協働して、課題を解決できる。

**■総合科学コース****【知識・理解】**

- ・学位論文に関係する人文・社会科学や自然科学の各専門分野に関する高度な専門知識と技術を持つとともに、異分野の知識・視点をも兼ね備えている。

**【思考・判断】**

- ・社会の持続的発展への貢献に主眼を置き、学際的・国際的視野から課題に取り組み、論理的考察により、有効な対策や結論を導き出すことができる。

**【関心・意欲・態度】**

- ・自然環境と調和のとれた持続型社会を確立するため、自己の知識や技能を駆使し、高い協調性と倫理性をもって自律的・継続的に行動することができる。
- ・高い倫理意識のもとに、自発的かつ積極的に、自らの培った高度な専門知識を社会のために活かそうとする態度を有する。

**【技能・表現】**

- ・論理的な思考・判断のプロセスとその結果を説明するための高度なプレゼンテーション能力と豊かなコミュニケーション能力を有している。

**【統合・働きかけ】**

- ・身につけた高度な専門的知識・技能や考え方を統合し、学位論文を作成することで、その成果を広く社会へ発信できる。
- ・自身の研究を社会に還元し、また社会的課題や地域的課題との繋がりを見出すことで、異なる専門分野の専門家と協働して、課題を解決できる。